

# 明日に向かつて

## ともに創る

89

大船渡市長 戸田公明

### 「1・2・3鉄」もつとリアス線に乗ろう！

三陸鉄道は、3月23日に宮古・釜石間がつながり、リアス線として盛駅から久慈駅まで直通列車が運行し、新しい体制でスタートしましたことは皆様ご存じの通りです。

当日は、釜石市と宮古市で開かれた全線開通イベント出席のため出張しました。

列車で移動中、駅に停車するたびに大歓迎で、沿線住民の皆さんの熱い思いと喜びがひしひしと伝わってきました。テレビや新聞などでも報道され、多くの皆様も同じ思いであつたものと思います。

一方で、並行して走る三陸沿岸道路も次から次へと新たな区間が開通し、3月9日には釜石南IC・釜石両石IC間が、6月22日には釜石北IC・大槌IC間が開通しました。宮古・久慈間も令和2年度中にはほぼ開通する見込みと伺っております。

このように三陸沿岸は交通インフラが格段に向上しつつ

あり、住むわれわれにとつて、永年の大きな夢がまさにかないつつあり、誠に喜ばしい限りであります。

このような中、全線開通直後の4月の月間輸送人員は、前年同月の2・6倍を記録し、経営的にも良い結果となり、引き続き5月の連休以降においても多くの乗客でにぎわっていると思っております。まさに全線開通の効果が表れているものと思えます。

ところで、三陸鉄道を支援する組織として、株主の岩手県と沿岸市町村で構成される岩手県三陸鉄道強化促進協議会があります。

当協議会は、リアス線全線開通と、三陸防災復興プロジェクト2019やラグビーワールドカップ2019の釜石開催などの機会をとらえ、リアス線利用促進を通じて、沿岸地域の復興加速化、地域振興の推進を図るため、「1地元、2オール岩手、3国内

外」による利用促進で年間「123万人の三陸鉄道の利用」を目指す「1・2・3鉄運動」を行っています。さらには県・沿岸市町村によるリアス線利用促進のため、各種イベントや、キャラバン隊によるPRなども予定しています。

市民の皆様におかれましては、リアス線をマイレールとして今まで以上に利用・活用され、時には沿岸中部・北部のまちを訪ね、祭り、観光イベント、食、人との触れ合いなどを楽しまれ、三陸リアス海岸の風土・文化・そこに生活する人々を改めて知ること、も良いことではないでしょうか？

また、地域における各種団体および事業所の皆様におかれましても、沿線各駅の近場にお出掛けされる際や懇親会、さらには沿線各団体との交流会などに、リアス線をご活用されることを検討いただければいかがでしょうか？  
一本につながりさらに便利になったリアス線を末永く持続させるためにも、市民の皆様には、ぜひ今まで以上にご利用いただきますようお願い申し上げます。

## 第7回復興・大船渡全国ちんどんまつりを開催します

プロ、アマチュアのちんどん団体が盛大にパフォーマンスを披露する、「第7回復興・大船渡全国ちんどんまつり」を開催します。

本年度で最終回を迎えるこのまつりには、地元チンドン寺町一座をはじめ、全国19団体が出演します。皆さんお誘い合わせの上、ぜひお越しください。

- ▷期日＝7月14日(日)
- ▷時間＝午前9時50分開場、午前10時20分開演
- ▷会場＝リアスホール大ホール
- ▷入場料＝1,000円(全席自由)
- ▷入場券販売＝リアスホール、大船渡商工会議所、サン・リア、マイヤほか
- ▷出演＝プロ6団体、アマチュア13団体

### ■さかり商店街でちんどん大パレードを開催

- ▷日時＝7月13日(土)午後2時から
- ▷場所＝さかり商店街、蔵ハウス大船渡
- ▷問い合わせ先＝復興・大船渡全国ちんどんまつり実行委員会【大船渡商工会議所(☎262141)】

